

令和4年9月八峰町議会定例会会議録（第2日）

令和4年9月14日（水曜日）

議事日程第2号

令和4年9月14日（水曜日）午前10時開議

第1 会議録署名議員の指名

第2 一般質問

出席議員（12人）

1番 笠原吉範	2番 伊藤一人	3番 奈良聡子
4番 芦崎達美	5番 水木壽保	6番 菊地 薫
7番 腰山良悦	8番 見上政子	9番 須藤正人
10番 門脇直樹	11番 山本優人	12番 皆川鉄也

欠席議員（なし）

説明のため出席した者

町長	森田 新一郎	副町長	日沼 一之
教育長	川尻 茂樹	総務課長兼 新型コロナウイルス 総合対策室長	和平 勇人
税務会計課長	成田 拓也	企画財政課長	高杉 泰治
福祉保健課長	石上 義久	教育次長	山本 節雄
学校教育課長	山内 章	産業振興課長	山本 望
農林振興課長	浅田 善孝	建設課長	石嶋 勝比古
農業委員会事務局長	工藤 善美	生涯学習課長	今井 利宏
あきた白神体験センター所長	菊地 俊平	防災まちづくり室長	内山 直光
福祉保健課副課長兼 新型コロナウイルスワクチン 接種対策室長	若狭 正和	福祉保健課副課長	成田 公誠
農林振興課副課長	堀内 和人		

議会事務局職員出席者

議会事務局長 佐々木 高 議会事務局庶務係長 須藤 佳奈子

午前10時00分 開 議

○議長（皆川鉄也君） おはようございます。

傍聴者の皆様には、朝早くからご苦勞様でございます。よろしく願いをいたします。
ただいまの出席議員数は12名です。定足数に達しておりますので、これより会議を開きます。

日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、八峰町議会会議規則第124条の規定により、4番芦崎達美君、5番水木壽保君、6番菊地 薫君の3名を指名いたします。

日程第2、一般質問を行います。

順番に発言を許可します。7番腰山良悦君

○7番（腰山良悦君） 皆さんおはようございます。傍聴者の皆さん、どうもご苦勞様です。

7番腰山良悦です。通告に従いまして、質問させていただきます。

8月3日朝、9日午前と我が町に降った線状降水帯による豪雨は、1時間降水量72.5mmにも達し、観測史上初めてと言われていています。このたびの雨で被害に遭われた農家の皆さん、影響のあった漁業者の皆さんに心からお見舞い申し上げます。

さて、町は、豪雨による増水で住宅の浸水・倒壊など、危険が想定される河川・水路など全て把握されているか。今回のような、また、それ以上の降水量により想定外の危険も考えられるが、把握している箇所、想定外の箇所も含めた日頃の点検、管理はどうなっているのか。十分か伺います。

また、今度の記録的な豪雨の際、大雨洪水警報、土砂災害警戒情報発令後に被害があるなしにかかわらず、情報収集により地域の状況を的確に把握できたのか。今後、被害防止のために、これまでの対策でよいのか伺います。

以上で終わります。よろしく申し上げます。

○議長（皆川鉄也君） ただいまの7番議員の一般質問に対し、当局の答弁を求めます。

森田町長。

○町長（森田新一郎君） おはようございます。

傍聴席の皆様には、朝早くからお越しいただきまして本当にありがとうございました。
腰山議員のご質問にお答えします。

八峰町の河川は、秋田県が管理する二級河川が真瀬川等4河川、町が管理する普通河川が狭田川等53河川あります。

水路は、道路水路や農業用水路、住宅地等を通る法定外水路など多数あります。

大雨が降り、地盤が緩んで、土砂災害が発生する恐れがある「土砂災害警戒区域」に指定されている箇所は、八森地区に56カ所、峰浜地区に32カ所の合計88カ所あります。このうち、いわゆる「イエロー指定」は8カ所、建築物に損壊が生じ住民等の生命または身体に著しい危害が生じる恐れがある区域、いわゆる「レッド指定」等の「土砂災害特別警戒区域」が80カ所となっています。

これらの点検、管理については、平常時に施設利用状況を把握する「通常パトロール」に加え、台風、豪雨、豪雪、地震などによる災害が発生した場合やその恐れがある場合に行う「異常時パトロール」のほか、毎年6月の土砂災害防止月間に行う「秋田県と八峰町の合同パトロール」で行っています。

さらに、過去の大雨で「避難勧告」を発令した横内地域と山内地域についても重点的にパトロールを行い、警戒にあたっています。

また、8月の記録的な豪雨の際には、役場職員による巡回パトロールを行うとともに、民生児童委員に、一人暮らし高齢者等の住宅の被害状況、避難状況及び安否確認をお願いしながら地域の状況を確認いたしました。

さらに、気象庁から土砂災害警戒情報「警戒レベル3相当」や「警戒レベル4相当」の情報が発表された際には、住民へ「避難指示」を発令するとともに、消防機関と協力しながら、防災行政無線や町のホームページ、緊急速報メールであるエリアメール、八峰町公式ラインなど、複数の情報システムを利用していち早く安全な場所へ避難できるよう、的確な情報提供に努めているところであります。

いずれにいたしましても、災害はいつやってくるか分かりませんので、これまでと同様に、住民の命を守ることを最優先としながら、また、災害がやってきた場合の「減災」を基本に据えながら、河川整備や護岸改修などの「ハード対策」や住民参加型の避難訓練などの「ソフト対策」に取り組み、水害被害の防止に努めてまいります。

○議長（皆川鉄也君） 7番議員、再質問ありませんか。7番腰山良悦君。

○7番（腰山良悦君） 町長の質問、行政報告でも伺っておりまして、大体分かっており

ますが、真瀬川とか小入川とか、あとそれ以外に峰浜、ちょっと私詳しく分からないんですが、そういうところはまず増水によって洪水になる可能性もあるということは皆さんもご存じのとおりだと思いますが、それ以外の小さい水路、そういうところで水があふれることによって住宅に浸水すると、住宅が浸水すると、そういう場所は把握しているのか、その点伺いたいと思います。

○議長（皆川鉄也君） ただいまの再質問に対し、当局の答弁を求めます。内山防災まちづくり防災室長。

○防災まちづくり室長（内山直光君） 議員のご質問にお答えいたします。

今、河川のごことは説明いたしました。水路については質問がありまして、水路については道路水路とか農業水路、住宅地を流れる法定外水路、いろいろありまして、多数あります。過去の大雨によってこう危険が予想される地域の水路を重点的に巡回パトロールで確認しながら、その地域の状況を把握しております。

以上です。

○議長（皆川鉄也君） ほかに質問ありませんか。7番腰山良悦君。

○7番（腰山良悦君） ただですね、今回のような想定外の雨が降った場合ですね、これまで安全だと思っておる場所も水があふれ出して住宅に水が入ると、そういうこともまた想定されるわけなんです。今回の私、岩館の場合ですけれども、ある人から電話あったんですよ。それでですね、その人の親戚のうちで水があふれそうで大変だと、どうしたらいいかというような相談を受けました。それで私、土砂降りの中、現地へ行って確認しました。しかしながら、自分では判断はできませんでした。ただ言えることは、逃げた方が一番いいんじゃないかと、避難した方が一番いいんじゃないかと、そういうことで避難を勧めました。それでまず町の方へ連絡して、それで避難所開けてもらったわけなんです。開設してもらったわけなんです。それ以外にもこれまでに岩館地区には何カ所かいろんなことがありました。ただ、その後の改修工事とか、また今回のようなそういう雨がこれまで降らなかったの、皆さんこう安心、安心というか、大したあれでもないだろうというふうに思っている地域の人もおるとおもいます。ただ、当事者といいますか、その近くの方は、やはり常にこう不安を抱いておるわけなんです。そういう点で、何ていいますか、点検はもちろん必要ですけれども、事前にですね、降り始めてからそういう巡回とかそういうのでやはりこれからはやっつけていかなければいけないと思うんですが、その点どう考えておりますか。

○議長（皆川鉄也君） ただいまの質問に対し、当局の答弁を求めます。日沼副町長。

○副町長（日沼一之君） ただいまの腰山議員のご質問にお答えします。

今ご質問にあったように、確かに想定外の雨というのは、最近世界を見ても日本全体見ても繰り返して起きています。本来ならばそういうことをできるだけ情報を得ながら、気象庁でも一生懸命いろんな情報を出してます。それを確認しながらも、こちらではそれを予想し、やはり事前にパトロールしたり、地域住民にいろんな注意喚起したり、これがやっぱり業務です。ですから、起こってからはやはり後手後手になるんですけども、現実にかなり、先ほど腰山議員がおっしゃったように判断が難しいと、これはやっぱりあります。でもやっぱり不安な時は、もう避難と。ですから、今回3日の大雨の時はですね、特に線状降水帯と、南の話だと思ってあったらやっぱりこの辺でも初めて出たわけですね。そういう中で、雨量にすれば1時間、7時から8時までは約70mmも降ってるんです。ここ4時間10mm以上降って113mm超えてるんです。こういうのはこの辺では今までなかったです。ですから、これからはやっぱり今まではこうだということじゃなくて、やっぱり先を予想した最悪の状況を考えた避難対策ということは、いつも心がけております。ですから、今回も気象の情報を確認しながらも、かなり早め早めに職員を招集しながら体制は取ってる状況でありました。ただ、今回の雨、本当に同じ八峰町でも北と南では、旧峰浜の方はあまり降らなかったんです。で、北の方に偏ってあったんです。だから活動も約半分で済みました。全域は回りましたが、そういう状況の中で、私も長らくこういう危機管理やってれば1時間に10mm、そして2時間30mm、トータル雨量1日100mm超えれば必ず被害があります。このことを念頭に置きながら気象の情報も得て、今後も事前に動けることは動けるように、今、腰山議員おっしゃったような事前の対策が一番大事ですので、その辺をしっかりと努めてまいりたいと思っています。

以上でございます。

○議長（皆川鉄也君） 7番議員、ほかに質問ございませんか。7番腰山良悦君。

○7番（腰山良悦君） 今の副町長の説明、分かりました。

ただですね、私一つ、今回町でももうちょっと考えてくれればよかったんじゃないかなということがあります。というのはですね、町で職員が見回りしたわけなんですね。いや、それどこどこを見回りしたかは分かりませんが、あと消防署でもね巡回したというように聞いておりますが、やはり地域の状況というのは一番地域の人が一番分

かるんですよ。そういう意味で、地域の消防団ね、それから地域の住民、自治会、防災組織を立ち上げておるんですので、そういう人方をお願いして活用してですね、やはり見回りとかそういうのを事前に早め早めにやって、やるようにすることが一番大事ではないかと私はそう思ってるんですが、いかがですか。

○議長（皆川鉄也君） ただいまの質問に対し、当局の答弁を求めます。日沼副町長。

○副町長（日沼一之君） ただいまの腰山議員のご質問にお答えします。

消防団、地域住民、そしてまた自主防災組織、こういう協力を得る。全くそのとおりです。今回、消防団はもちろん活動の範疇に入っています、消防署含めて。で、全部連絡は取っております。団長、副団長には、万が一にはやっぱりそういうのをお願いすると。ただ、今回の活動は日中から始まりました。そういう面で、かなり職員の動員もできたし、消防署の方でもしっかり回ってくれたし、危険と普段からこの被害のありそうな予想される場所は、全て確認はできたと思っています。そういう中で、1回ではなく、おさまってからもちろん所々で巡回していますので、今後もそういうふうに行行政で、また我々全体で手回らない時は、もちろん皆さんのお力をおかりしながら全力を挙げて取り組んでまいりたいと思いますので、今、八峰町内で自主防災組織7カ所ですね、まだまだ少ないので、まあ岩館も1カ所ありますけども、全町に向けてこういう取り組みをしながら防災にしっかり対応してまいりたいと思いますので、どうぞご理解をお願いしたいと思います。

○議長（皆川鉄也君） ほかに質問ございませんか。7番腰山良悦君。

○7番（腰山良悦君） いずれにしても、指摘すれば指摘する点はいくらかありますけれども、まずいずれにしてもやはり一番大事なことは、事前の、事前というか事後の点検が一番大事だと思います。あとそれから、的確な情報を周知すること、これがまた2つ目に大事だと思っています。そして、迅速な早い、早く情報を住民に周知する、これももちろん大事だと思っています。そういう点に今後留意して、まず頑張ってくださいと思います。

それでですね、これ、川、水路の増水と直接は関係ないんですが、ちょっと今回、この雨の影響が直接か原因はしっかり分からないんですが、岩館の漁火の館の急傾斜地ですね、そこにあった立ち木ですが、それが倒れたんですよ、9日の日ですか。この、このっていうか先月の大雨の時ですね。それで、かなりの大きい木で、どうだろう深さ、直径50cmくらいもあったかな、長さは2間くらいもある、そういう大木です。それ

が斜面からあれして下の方へ落ちて行ってですね、それで幸い、ネットがあったのでそこでクッションあれで、クッションなったのか分かりませんが、真下の家の基礎の部分にぶつかって止まったわけなんですけども、それが別の何ていうか状況が変わってですね、これは誰もおりません、万が一ですね屋根へ行けば、もう屋根はぺちゃんこです。あと壁行けば、窓が突き破られて、うちの中へその木が入っていきます。それで、そこは空家でもないんです、空家じゃないんですが、常時人がいるっていうわけでもないんです。それでもうたまに来て、それを、その時ちょうど来てあったのかちょっと私そこ確認してないんですが、そういうことがありました。それで本当に私も行ってみてびっくりしたんですけども、本当に大変な惨事になるのではないかなというそういう思いをしました。

それで、その前の月から、ちょっと私はっきりしないんですけども、そのこの家の玄関のどこにある太い木なんですけども、3本あるんですよ。それは今回伐採したんですよ。それで、まずそれはそれでいいですけども、やはりそういう、それもまた必要であったのか知りませんが、やはりもう少し町有地の、町有地内の木や住宅のあるところと、そういう立木の点検とか、そういうのもやっぱり風ばかりでなく雨でもまた倒れる可能性もあるので、今後点検、力を入れて、そして対応できる場所であったら対応してください。そういうことをお願いしています。

○議長（皆川鉄也君） 答弁を求めますか。

○7番（腰山良悦君） はい、一応、はい。

○議長（皆川鉄也君） 日沼副町長。

○副町長（日沼一之君） ただいまの腰山議員のご質問、要望といいますか、これにお答えしたいと思います。

最初に、住民の的確な情報の周知とか我々の情報の収集、それから現場の確認、これは一番大事なことです。遅れないようにしっかりこれは今後も対応したいと思います。

今、あと一番心配された急傾斜地の関係の木の倒木ですけども、今回、実は突風が所々でやっぱり吹いてるんですね。ですから、留山もそうですし、国道もそうですし、所々でやはり倒木がありました。これは全域ではなかったんですけども、この大雨に含めて突風も吹いたと、こういうことだと思ってます。

そこで、漁火の館のところは、やはり自治会長から要望がありまして、今回、木何本

か伐採して整理いたしました。岩館は皆さんご承知のように急傾斜地ありまして、今までも要望があつて何本かそういう危険なところは整理しましたけども、今後もその辺を県の方と、急傾斜地、県の管轄ですけども、町としてもしっかり確認しながら要望できるものは要望し、町で対応しなくちゃいけないものは町で対応と、こういうふうに進めてまいりたいと思いますので、どうかご理解いただきたいと思います。

以上でございます。

○議長（皆川鉄也君） ほかに質問ございませんか。

○7番（腰山良悦君） すみません、どうも。もう一つちょっと質問あります。

○議長（皆川鉄也君） 7番腰山良悦君。

○7番（腰山良悦君） あと、水路、水路というか川というほどでもないですけども、それに関してちょっとお願いっていいですか、町の方に点検の方をお願いしたいと思えます。というのは、岩館の駅前の方なんですけど、国道の下、あ、国道でない、町道の下に隧道、トンネルといいですか、水が流れておるわけなんですけど、数十年前にもその内側が崩れてですね、それで何というんですか、それまた木が上流の方から流れてきたりして、立木がね、そういうことで一度工事をしていただいたわけなんです。それからまずもうは数十年もなるわけなんですけど、あ、数十年でない、10年くらいなりますか、それが今回また石が流れてきたりしてるということで、もしそこが塞がれば国道もまた、国道でない、町道もまた崩れるのではないかというような心配されております。そういうことで、上流部の方の、そのトンネル内はもちろん、上流部の方のその点検といいですか、それもしていただければいいのではないかなど、そのように感じてございます。そういう住民の要望もありますけども。

まず、これで質問終わります。答弁は要りません。じゃあどうもすみません。

○議長（皆川鉄也君） これで7番議員の一般質問を終了いたします。